



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月31日

上場会社名 アイコム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6820 URL <http://www.icom.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福井 勉  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 植畑 敬一 TEL 06-6793-5301  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	19,046	13.2	1,392	135.5	2,029	86.4	1,637	132.8
25年3月期第3四半期	16,822	△0.5	591	△25.1	1,088	49.3	703	48.8

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,070百万円 (103.3%) 25年3月期第3四半期 1,018百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	110.54	—
25年3月期第3四半期	47.49	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	55,454	50,657	91.3
25年3月期	54,866	49,105	89.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 50,657百万円 25年3月期 49,105百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 10円00銭

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,440	2.3	2,240	2.9	2,410	△23.7	1,910	△14.3	128.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	14,850,000株	25年3月期	14,850,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	31,607株	25年3月期	31,583株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	14,818,415株	25年3月期3Q	14,818,439株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、国内では、円安の進行や大型補正予算による公共投資効果から企業の景況感が好転し、個人消費も底堅く推移するとともに、地方圏の実体経済にも広がりを見せました。

一方海外では、米国経済は消費や住宅投資が堅調に推移しており回復基調が続きましたが、財政問題が重石となりました。欧州圏は持ち直しつつあるものの、依然として厳しい雇用環境や債務問題があり、マイナス成長となった国もあるなど回復のペースは緩慢なものとなりました。アジア圏は成長を続けましたが国によってその勢いに強弱がみられ、グローバル化する世界経済の影響をより濃く受けることとなりました。

このような状況のなか、当企業集団は、アジア地域を中心として新興国市場の開拓を行うとともに、無線通信におけるデジタル化及びシステム化の流れを具体化する研究開発投資を推し進めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は190億4千6百万円と、前年同期に比べ22億2千3百万円(13.2%増)の増収となりました。試験研究費等の販売費及び一般管理費が増加しましたが増収効果もあり営業利益は13億9千2百万円と、前年同期に比べ8億1百万円(135.5%増)の増益となり、為替差益を4億9千4百万円計上したことにより経常利益は20億2千9百万円と、前年同期に比べ9億4千万円(86.4%増)の増益、四半期純利益も16億3千7百万円と、前年同期に比べ9億3千4百万円(132.8%増)の増益となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

## ① 日本[当社、和歌山アイコム㈱、アイコム情報機器㈱]

国内市場向けは、アマチュア用無線通信機器は新製品効果により好調に推移しましたが、復興需要が一巡してきた陸上業務用無線通信機器は減収となりました。海外市場向けでは為替レートが円安で推移したことにより全カテゴリーで増収となり、特に、販売チャネルの拡充に務めたアジア地域向けが大きく増収となりましたことから、外部顧客に対する売上高は116億3千3百万円(前年同期比18.2%増)となりました。円安の影響もあり売上総利益は23.5%増益となり、販売費及び一般管理費が5.2%増加しましたが営業利益は14億5千万円(前年同期比206.2%増)となりました。

## ② 北米[Icom America, Inc.、ICOM CANADA HOLDINGS INC.、ICOM DO BRASIL RADIOCOMUNICACAO LTDA.]

米国市場で陸上業務用無線通信機器が減収となりましたが、海上用無線通信機器は需要が回復してきており、新製品効果のあったアマチュア用無線通信機器は増収となりました。円安の影響により円換算での外部顧客に対する売上高は56億5千3百万円(前年同期比3.6%増)となりました。

利益面では円換算ベースでの販売費及び一般管理費の増加により0百万円の営業損失(前年同期は2億4千1百万円の営業利益)となりました。

## ③ ヨーロッパ[Icom (Europe) GmbH、Icom Spain, S.L.]

市場の低迷から陸上業務用無線通信機器及び海上用無線通信機器は減収となりましたが、新製品効果のあったアマチュア用無線通信機器は好調が続いたためそれを補いました。円安の影響もあり円換算での外部顧客に対する売上高は7億2千6百万円(前年同期比31.5%増)となりました。

利益面では円換算ベースでの販売費及び一般管理費の増加により3千5百万円の営業損失(前年同期は3千万円の営業損失)となりました。

## ④ アジア・オセアニア[Icom (Australia) Pty., Ltd.、Asia Icom Inc.]

主力市場となるオーストラリアでは、鉱山向け等で陸上業務用デジタル無線通信機器が大幅な増収となり、アマチュア用無線通信機器や航空機用無線機も増収となりましたが、景気減速の影響を受けて他のカテゴリーは減収となりました。円安の影響により円換算では外部顧客に対する売上高は10億3千3百万円(前年同期比6.5%増)となりました。

利益面では円換算ベースでの販売費及び一般管理費の増加により営業利益は7千万円(前年同期比31.1%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

総資産は前連結会計年度比5億8千8百万円増加し、554億5千4百万円となりました。

主な内訳は、現金及び預金の増加45億4千4百万円、たな卸資産(合計)の増加4億6千4百万円、有形固定資産の増加1億5千5百万円及び投資その他の資産その他の増加1億3千万円等の増加要因と、受取手形及び売掛金の減少37億9千1百万円及び流動資産のその他の減少8億6千9百万円等の減少要因によるものであります。

なお、投資その他の資産その他の増加1億3千万円の主な内訳は、投資有価証券の増加2億8千5百万円等の増加要因と、その他投資の減少1億1千5百万等の減少要因によるものであります。

また、流動資産のその他の減少8億6千9百万円の主な内訳は、営業外の受取手形の減少7億2千4百万円及び貿易保険に関する未収入金の減少3億9千9百万円等の減少要因と、未収消費税の増加1億4百万円及び前渡金の増加8千

8百万円等の増加要因によるものであります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度比9億6千3百万円減少し、47億9千7百万円となりました。

主な内訳は、固定負債のその他の増加2億4百万円等の増加要因と、未払法人税等の減少7億6千5百万円及び流動負債のその他の減少3億6千9百万円等の減少要因によるものであります。

なお、固定負債のその他の増加2億4百万円の主な内訳は、繰延税金負債の増加1億9千3百万円等の増加要因によるものであります。

また、流動負債のその他の減少3億6千9百万円の主な内訳は、固定資産の売却にかかる前受収益の減少4億7千1百万円等の減少要因によるものであります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度比15億5千2百万円増加し、506億5千7百万円となりました。

主な内訳は、当期純利益による増加16億3千7百万円及び為替換算調整勘定の増加4億3千1百万円等の増加要因と、剰余金の配当による減少5億1千8百万円等の減少要因によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は89.5%から91.3%に増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、おおむね想定範囲内で推移しており、現時点では平成25年5月17日公表の業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,046	30,590
受取手形及び売掛金	6,893	3,102
商品及び製品	3,303	3,573
仕掛品	80	89
原材料及び貯蔵品	2,454	2,640
その他	2,925	2,056
貸倒引当金	△27	△29
流動資産合計	41,676	42,023
固定資産		
有形固定資産	7,664	7,819
無形固定資産	138	80
投資その他の資産		
その他	5,480	5,610
貸倒引当金	△93	△78
投資その他の資産合計	5,386	5,532
固定資産合計	13,189	13,431
資産合計	54,866	55,454
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,075	1,253
未払法人税等	911	146
賞与引当金	450	164
製品保証引当金	47	53
その他	1,735	1,366
流動負債合計	4,221	2,984
固定負債		
退職給付引当金	876	945
その他	663	867
固定負債合計	1,539	1,813
負債合計	5,761	4,797

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,081	7,081
資本剰余金	10,449	10,449
利益剰余金	31,641	32,760
自己株式	△102	△102
株主資本合計	49,068	50,187
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△48	△46
為替換算調整勘定	84	516
その他の包括利益累計額合計	36	469
純資産合計	49,105	50,657
負債純資産合計	54,866	55,454

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	16,822	19,046
売上原価	9,911	10,728
売上総利益	6,911	8,318
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	45	—
給料及び手当	1,582	1,751
賞与引当金繰入額	54	63
退職給付引当金繰入額	97	83
試験研究費	2,246	2,418
その他	2,293	2,608
販売費及び一般管理費	6,319	6,925
営業利益	591	1,392
営業外収益		
受取利息	162	177
受取配当金	8	5
投資有価証券売却益	3	10
為替差益	359	494
補助金収入	7	6
その他	109	119
営業外収益合計	650	814
営業外費用		
売上割引	114	123
その他	39	54
営業外費用合計	153	177
経常利益	1,088	2,029
特別利益		
固定資産売却益	3	496
特別利益合計	3	496
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	2	0
特別損失合計	2	2
税金等調整前四半期純利益	1,089	2,523
法人税等	385	885
少数株主損益調整前四半期純利益	703	1,637
四半期純利益	703	1,637



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	703	1,637
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	1
為替換算調整勘定	323	431
その他の包括利益合計	315	432
四半期包括利益	1,018	2,070
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,018	2,070

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。